

■ 第16回三大学(大阪市立大学・大阪府立大学・関西大学)連携事業公開講座 ■
「SDGs - 私たちが生き続けられる世界に！」を開催
 ～ 国連広報センター所長・根本かおる氏による講演ほか ～

【日時】11月9日(土) 13:00～16:10 【場所】関西大学梅田キャンパス 8階ホール

大阪市立大学・大阪府立大学・関西大学では、第16回三大学連携事業として、公開講座「SDGs - 私たちが生き続けられる世界に！」を、11月9日(土) 13:00から関西大学梅田キャンパスにて開催します。

本件の
ポイント

- ・国連広報センター所長を務める根本かおる氏が、SDGs 実現に向けた“自分事化”の視点を教示
- ・大学教員による研究・教育活動とSDGsの関連性を示し、社会における大学の役割についても言及
- ・大阪市立大学、大阪府立大学、関西大学連携による公開講座

当日はSDGsをテーマに、その実現に向けて私たちができることを考えます。まず基調講演として登壇するのは、国連広報センター所長を務める根本かおる氏。講演では、「自分事化」をキーワードにSDGsが身近な目標であることを示し、参加者に普段からの意識・行動改革を促します。

つづくパネルディスカッションでは、SDGsの17のゴールを4つのカテゴリに分け、各大学の教員がそれぞれ「環境」「格差の是正」「技術革新と生活レベルの向上」をテーマに、自身の研究とSDGsの繋がりについて語ります。そのなかで大学の研究および教育が社会にどう貢献できるのか、またどのような展望を持つべきかを参加者とともに考えます。

つきましては、周知・取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

＜ 第16回三大学連携事業公開講座「SDGs - 私たちが生き続けられる世界に！」の概要 ＞

【日時】11月9日(土) 13:00～16:10

【場所】関西大学梅田キャンパス 8階 KANDAI Me RISE ホール (大阪市北区鶴野町1-5)

【プログラム(予定)】

13:00～ 開会挨拶：芝井 敬司 (関西大学学長)

13:05～ 基調講演：根本 かおる氏 (国連広報センター所長)

＜テーマ＞「SDGsを自分事化して世界を変革する担い手に！

～世界規模の思考力と足元の行動力を育むために～」

14:05～ 質疑応答・休憩

14:35～ パネルディスカッション

＜テーマ＞「格差・環境・科学技術 - SDGsと大学の役割」

＜司会＞ 品川 哲彦 (関西大学地域連携センター長、文学部教授)

＜パネリスト＞ ・遠藤 徹 (大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻准教授)

・嵯峨 嘉子 (大阪府立大学人間社会システム科学研究科准教授)

・谷 弘詞 (関西大学システム理工学部教授)

16:05～ 閉会挨拶：辰巳砂 昌弘 (大阪府立大学学長)

【対象】一般・学生 【受講料】無料(事前申込み要) 【定員】200名(応募多数の場合は抽選)

【申込方法】ウェブの専用フォーム(関西大学社会連携部ウェブサイト)もしくは往復はがきにて

※詳細は次ページご参照

【一般のお問い合わせ先】関西大学社会連携部地域連携センター TEL:06-6368-1032

以上

※なお、当日の取材案内については、開催が近づきましたら別途ご案内予定です。

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、浦田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 登壇者・パネリストプロフィール

○ 根本 かおる氏（国連広報センター所長）

東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコーディネートを担当。WFP国連世界食糧計画広報官、国連UNHCR協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。2016年より日本政府が開催する「持続可能な開発目標（SDGs）推進円卓会議」の委員を務める。著書に『難民鎖国ニッポンのゆくえー日本で生きる難民と支える人々の姿を追って』（ポプラ新書）他。



〔講演テーマ〕

SDGsを自分事化して世界を変革する担い手に！～世界規模の思考力と足元の行動力を育むために～

〔講演内容〕

「持続可能な開発目標（SDGs）」について国連総会で採択された世界目標だと説明すると、日本の方々から遠くかけ離れたものとして受け止められがちです。しかし、いえいえ、これは私たちにとっても身近な目標なのです。SDGsをどう実現していくかは、政府・国連に加えて、世界中の一人ひとりが主役。SDGsという2030年に向けた座標軸を掲げることで、未来のために自分が社会とどう関わっていくかを考える視点が生まれ、アクションにつながっていきます。次世代を担う学生の皆さまには特に、「誰一人置き去りにしない」を掲げるSDGsの担い手になっていただきたいと強く願っています。

○ パネリスト：プロフィールおよび発表テーマ

環境	格差の是正	技術革新と生活レベルの向上	司会
			
大阪市立大学 大学院 工学研究科 都市系専攻 遠藤 徹 准教授	大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 嵯峨 嘉子 准教授	関西大学 システム理工学部 谷 弘詞 教授	関西大学 地域連携センター長 品川 哲彦
主な研究テーマは、都市沿岸域および都市河川の環境動態解析と環境影響評価、生態系機能の評価と活用。	主な研究テーマは、日本およびドイツにおける反貧困政策および所得保障制度に関する研究。	主な研究テーマは、摩擦・摩耗・潤滑現象を対象とするトライボロジー。近年は摩擦発電や摩擦帯電センサの実用化に取り組んでいる。	主な研究テーマは、倫理学・応用倫理学・現代哲学。SDGsについては、環境倫理学と社会的正義の観点から関心をもつ。

■ 申込方法の詳細

▼ウェブの専用フォームにてお申込み【10月23日（水）まで】

関西大学社会連携部ウェブサイトアクセスし、専用フォームに必要事項を入力し、送信。

[URL : <http://www.kansai-u.ac.jp/renkei/event/detail.php?i=433>]



▼往復はがきにてお申込み【10月23日（水）必着】

往復はがきに、①第16回三大学連携事業希望、②住所、③氏名（ふりがな）、④電話番号、⑤年齢、⑥本セミナーをどのように知ったか を一枚のはがきに1名のみ記入の上、以下の宛先に送付

〔宛先〕〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学地域連携センター「第16回 三大学連携事業」係



G296



~ A E 1 0 0 z ` μ p <

i e s A C

, D E T C O W

... O v j X

w

